

笑顔かがやく 希望のまち



むつ市総合経営計画 〈概要版〉

むつ市総合経営計画 〈概要版〉

むつ市総合経営計画(概要版)は、計画の基本構想・基本計画を簡略にまとめたものです。

全体の計画につきましては、市公共施設(市役所本庁舎、川内・大畑・脇野沢庁舎、中央公民館、図書館、むつ来さまい館)に備えておりますほか、市ホームページでご覧いただけます。

■ 策定年月/平成29年3月

■ 発行/むつ市

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号

TEL 0175-22-1111 (代表)

URL <http://www.city.mutsu.lg.jp/>

■ 編集/むつ市 企画部 企画調整課

計画策定の趣旨

本市は平成17年3月14日の市町村合併以来、「新まちづくり計画」や「むつ市長期総合計画」に基づき、市民が誇りと夢や希望を抱いて暮らすことができる魅力あるまちを目指して取り組んできました。

しかし、全国的に人口減少や少子高齢化が進行するなど社会情勢が大きく変化しており、また、行政に対するニーズはますます多様化・複雑化し、画一的な行政運営では対応が困難となってきました。

そこで、このような状況に迅速かつ確に対応し、将来にわたって持続的に発展していくために、市民と行政が協働しながら、今後のまちづくりを総合的かつ計画的に推進することを目的として、「むつ市総合経営計画」を策定しました。

むつ市総合経営計画とは

今後10年の目指すべき市の将来像としてまちづくりの目標を定め、その実現に必要な具体的取組を総合的かつ体系的にまとめたものであり、まちづくりを進める上で最上位となる計画です。

また、行政だけでなく、市民や地域の団体・民間事業者などがそれぞれの役割に応じて主体的に協働しながら、まちづくりを進めていくためのツールとして活用されるものです。

むつ市総合経営計画と個別計画との関係性



計画の特徴

▶ 地域を一つの経営体として捉え、「地域経営」という観点から地域全体が連携し、地域にあるものを効果的かつ効率的に活用しつつ、計画的にまちづくりを実践するためのランドデザイン。

▶ アウトカム(成果)目標を基本とした重要業績評価指標(KPI)を施策ごとに設定し、限られた行財政資源の配分と効果的かつ戦略的な取組の企画・立案や実効性の高い事業実施につなげるため、市民や関係者と連携したPDCAサイクルを運用し、地域一体となったまちづくりを進めるために活用するもの。

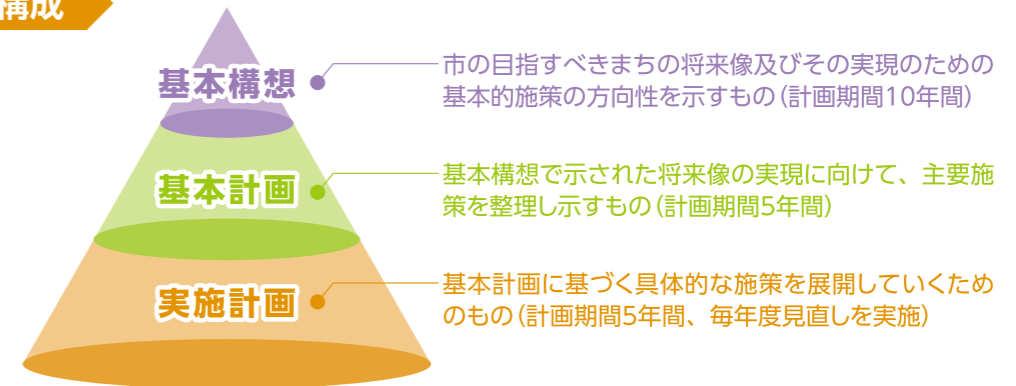
※重要業績評価指標(KPI)
組織や事業、業務の目標の達成度合いを計る定量的な指標。

※PDCAサイクル
Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するサイクルのこと。

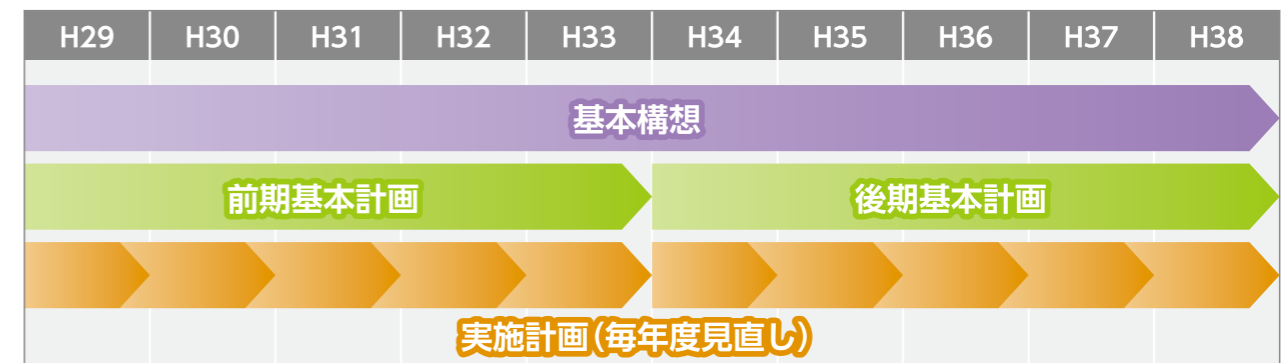
計画の構造

本計画は、まちづくりを推進していくための「基本構想」と、その目標達成に向けた主要施策を示した「基本計画」及びその計画に基づいて具体的な施策を展開していく「実施計画」で構成します。

計画の構成



計画の期間



計画のマネジメントシステム

施策の進捗状況や効果を検証するため、それぞれの施策に重要業績評価指標(KPI)を設定し、限られた行財政資源の配分と効果的・戦略的な取組の企画・立案や実効性の高い事業実施につなげるため、市民や関係者等と連携し、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)といったPDCAサイクルを運用します。

むつ市総合経営計画のPDCAサイクル



主要課題



1 人口減少対策の推進

人口減少の進行が予測される中、「まち」「ひと」「しごと」の創生に向けた取組を効果的かつ効率的に展開することが重要です。

2 安心して住みよいまち・地域の創出

都市経営コストの適正化や経済活力の向上が図られる都市構造の実現のため、コンパクトシティ構想に基づくまちづくりを進めることが重要です。

3 産業の振興と雇用の創出

市内の各種産業が成長し、新たな産業が振興することで、新たな雇用が生まれる好循環を築くことが重要です。

4 観光・物産プロモーションの推進

観光・特産品資源を磨き上げ、地域間競争を勝ち抜く地域ブランドを確立するとともに、積極的なプロモーションを展開することが重要です。

5 市民協働による総合力の向上

市民の皆様や各種団体など地域の多様な主体が関わり、それぞれがつながりながら、総合的にまちづくりを進めることが重要です。

6 川内・大畑・脇野沢地区の活性化

豊かな自然環境や歴史・文化など、他に誇れる地域資源を活かした産業振興や交流人口の拡大に努めることが重要です。

7 医療機能の再編

地域の実情に即した医療提供体制の構築を図り、更には医療・保健・福祉の連携による一体的なサービス提供体制の強化が重要です。

8 子育て支援と健康長寿のまちづくり

児童福祉と母子保健に関する施策の一体的な展開や、保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアの推進及び健康づくり施策の推進が重要です。

9 未来に向けた人づくり

学校、家庭及び地域が一体となって、新しい時代にふさわしい教育のあり方や子どもの成長を支える学校教育のあり方を具現化していくことが重要です。

10 消防・防災体制の整備及び充実

消防・防災関連施設の老朽化対策のほか、常備消防と非常備消防の連携体制や広域的な防災体制の構築が重要です。

11 交通ネットワークの改善

下北半島縦貫道路をはじめとした道路網の整備のほか、持続可能な公共交通の仕組みづくりや海上交通の維持が重要です。

12 地域循環型社会の推進

廃棄物の発生抑制に努めるとともに、再使用、再生利用及び熱回収を総合的に推進し、循環型社会への移行を加速化することが重要です。

13 電源立地に係る振興策

国のエネルギー基本計画に基づく施策への協力のため、周辺町村と連携しながら、課題解決に向けた取組を強化していくことが重要です。

14 持続可能な財政基盤の確立

事務事業の厳しい選択や市民ニーズを踏まえた真に必要な施策の重点化を図るとともに、自主財源の充実にも努め、持続可能な財政基盤を確立することが重要です。

15 公共施設等の適正管理

施設の計画的な整備や管理を行うとともに、長寿命化対策や利活用の促進及び統廃合などの公共施設マネジメントを推進することが重要です。

※コンパクトシティ
都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、もしくはそれを目指した都市政策。
※交流人口
地域外からその地域を訪れる人。
※地域包括ケア
高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように地域がサポートし合う社会のこと。

むつ市の目指す姿



人口減少や少子高齢化の進行、市民のライフスタイルや価値観の多様化などにより、地域課題は複雑化してきています。そのような中で、豊かな自然環境や各地域に伝承されている様々な伝統文化など、特色ある地域資源に恵まれた本市は、下北地域の中心市としての役割を担い、将来にわたって人と自然がともに輝く持続可能なまちづくりが求められています。

4回にわたって開催されたむつ市長期総合計画策定市民会議では、本市の誇りとして「食」「水」「空気」「温泉」「祭り」「歴史」「郷土芸能」「ジオパーク」などといった意見が多数挙げられました。また、「10年後どんなむつ市になってほしいですか?」といった問いに対しては、多くの市民が「子どもがたくさんいて、楽しく、暮らしやすく、にぎやかで、活気のあるまち」などといった笑顔と希望にあふれるまちの姿をイメージしていました。

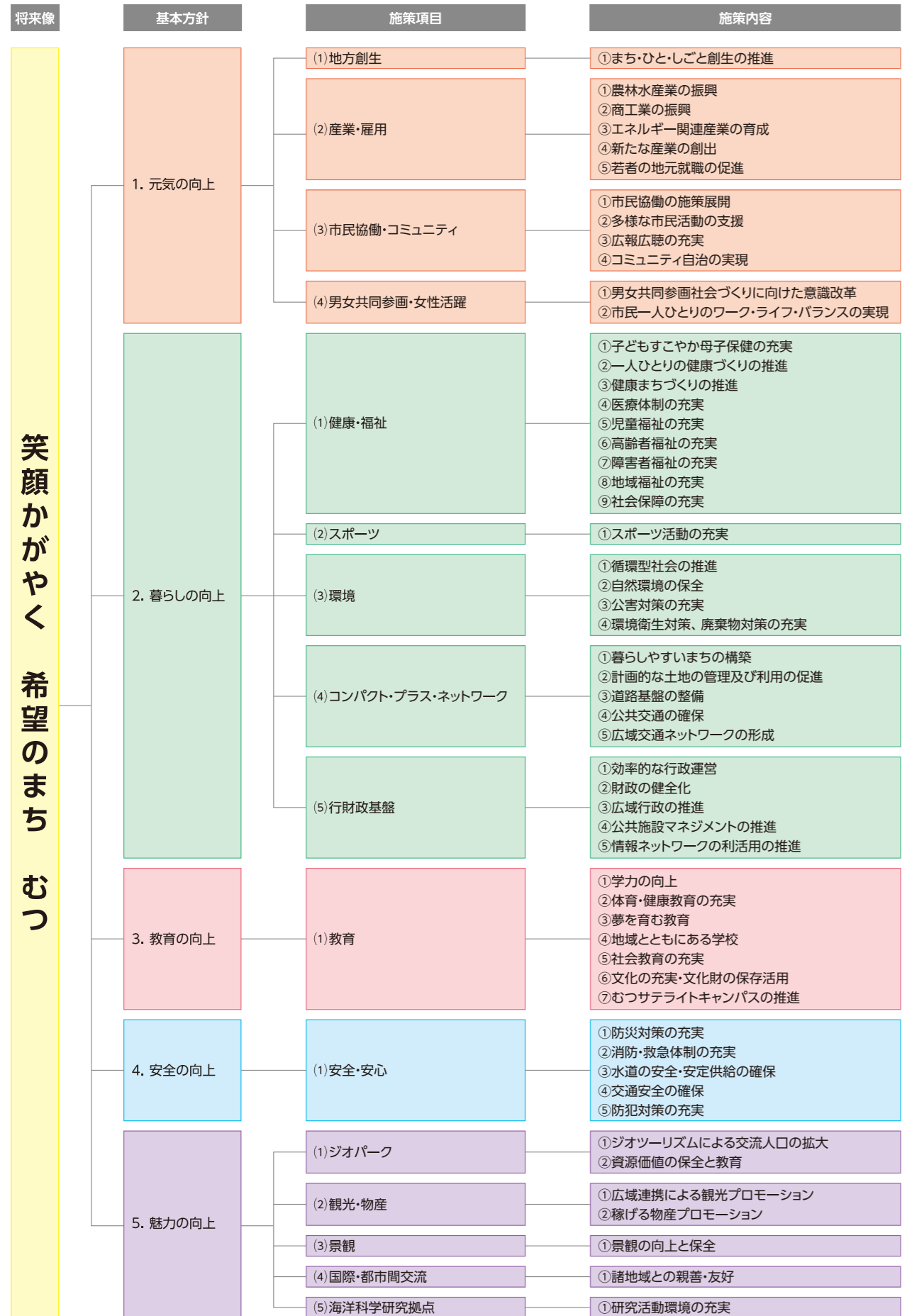
このような市民が思い描く10年後の理想像を実現するためには、誇れる地域資源を守り活かしながら、みんなが輝けるまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、本市は、子どもから高齢者まで全ての市民が笑顔で輝き、未来に向かって輝く夢や希望が持てるようなまちの実現を目指し、「笑顔かがやく 希望のまち むつ」を将来像に掲げます。

将来像

笑顔かがやく 希望のまち むつ





基本方針

1. 元気の向上

地域資源を活かした経済の持続的成長とともに、雇用の安定と確保に努めることで、人口減少に歯止めをかけ、活気あふれるまちづくりを推進します。

併せて、まちを元気にする市民協働の取組や市民の主体的な活動等を推進します。

注目指標

指標名	基準値	目標値 (H33年度)
人口減少の抑制	58,493人 (H27国勢調査 (H27.10.1現在))	55,569人以上
人口一人当たり市民所得	2,297千円 (H27年度)	2,412千円

施策

施策項目	施策内容
(1) 地方創生 (=まち・ひと・しごと創生)	①まち・ひと・しごと創生の推進
(2) 産業・雇用	①農林水産業の振興 ②商工業の振興 ③エネルギー関連産業の育成 ④新たな産業の創出 ⑤若者の地元就職の促進
(3) 市民協働・コミュニティ	①市民協働の施策展開 ②多様な市民活動の支援 ③広報広聴の充実 ④コミュニティ自治の実現
(4) 男女共同参画・女性活躍	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革 ②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現



神宮球場でのプロモーション



本州最北端 食のこだわりフェアin京都



ご近所知恵出し会議

※地方創生 (=まち・ひと・しごと創生)

人口減少社会と東京一極集中という課題に対し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼びこむ好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」へと活力を取り戻すため、各地域がそれぞれの特徴を活かして自律的で持続的な社会を実現すること。

※ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。



基本方針

2. 暮らしの向上

子どもから高齢者まで誰もが心身ともに健やかに、また、自然環境の保全や都市環境が整備され、快適に安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。また、時代に即した真に必要な事務事業を見極めながら、効果的で効率的な行政運営及び強固な財政基盤の確立を推進します。

注目指標

指標名	基準値	目標値(H33年度)
※ 合計特殊出生率	1.67 (H22市区町村別生命表)	1.80
平均寿命	男 76.7 歳 女 84.8 歳 (H22市区町村別生命表)	男 77.7 歳 女 85.8 歳

施策

施策項目	施策内容
(1)健康・福祉	①子どもすこやか母子保健の充実 ②一人ひとりの健康づくりの推進 ③健康まちづくりの推進 ④医療体制の充実 ⑤児童福祉の充実 ⑥高齢者福祉の充実 ⑦障害者福祉の充実 ⑧地域福祉の充実 ⑨社会保障の充実
(2)スポーツ	①スポーツ活動の充実
(3)環境	①循環型社会の推進 ②自然環境の保全 ③公害対策の充実 ④環境衛生対策、廃棄物対策の充実
※ (4)コンパクト・プラス・ネットワーク	①暮らしやすいまちの構築 ②計画的な土地の管理及び利用の促進 ③道路基盤の整備 ④公共交通の確保 ⑤広域交通ネットワークの形成
(5)行財政基盤	①効率的な行政運営 ②財政の健全化 ③広域行政の推進 ④公共施設マネジメントの推進 ⑤情報ネットワークの利活用の推進



健康ウォーキング大会



第43回東北総合体育大会



ダンボールコンポスト講習会



下北半島縦貫道路現場見学会

※合計特殊出生率

15歳から49歳の女性における年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子供を産むかを表す。

※循環型社会

廃棄物発生の抑制及び適正な処分、リサイクルを推進し、石油や森林等の天然資源をできるだけ使わない環境にやさしい社会を目指す。

※コンパクト・プラス・ネットワーク

人口減少・高齢化が進む中、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者などが安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進めること。



基本方針

3. 教育の向上

未来を担う子どもたちの夢や希望の実現に向けた成長を支援するとともに、全ての市民の生涯にわたる教育環境の充実を推進します。

注目指標

指標名	基準値	目標値(H33年度)
夢や目標の肯定的回答率 (全国学力・学習状況調査)	全国平均値	全国平均値を 5 ポイント上回る
教科に関する調査 (全国学力・学習状況調査)	全国平均値	全ての教科において 全国平均値を 3 ポイント上回る

施策

施策項目	施策内容
(1)教育	①学力の向上 ②体育・健康教育の充実 ③夢を育む教育 ④地域とともにある学校 ⑤社会教育の充実 ⑥文化の充実・文化財の保存活用 ⑦むつサテライトキャンパスの推進



学校教育



奥内歌舞伎



むつサテライトキャンパス公開講座



ブックフェスティバル



公民館まつり

※むつサテライトキャンパス

高等教育機会の充実や滞在型学習の支援、産業振興などに関する事業実施の拠点とするため、むつ市、弘前大学及び青森中央学院大学の三者共同で設置したもの。地元企業等との協働により、むつ市が目指している「地方創生」や「地域の人材育成」等に取り組んでいる。



基本方針

4. 安全の向上

誰もが安全で安心して暮らせる毎日を実現するため、防災や消防に係る施設や設備等の整備を計画的に進めるとともに、市民一人ひとりの安全・安心に対する意識の醸成を図り、地域全体で守る仕組みや体制づくりを推進します。

注目指標

指標名	基準値	目標値(H33年度)
※自主防災組織における世帯カバー率	15.8% (H27年度)	46.5%
消防団員充足率	81.7% (H27年度)	86.0%

施策

施策項目	施策内容
(1)安全・安心	①防災対策の充実 ②消防・救急体制の充実 ③水道の安全・安定供給の確保 ④交通安全の確保 ⑤防犯対策の充実



消防団出初式



大規模災害時における
応急対策業務に関する協定



総合防災訓練



震災時における
福祉用具等物資の供給に関する協定



子どもの見守り安全講習会

※自主防災組織
地域住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域ぐるみで防災活動に取り組むための組織。



基本方針

5. 魅力の向上

下北ジオパークや特産品などの地域資源の魅力を磨き上げるとともに、積極的なシティプロモーションを展開することで、常に選ばれる魅力のあるまちを目指し、国内外からの交流人口と滞在人口の拡大など「稼げる地域」への成長を推進します。

注目指標

指標名	基準値	目標値(H33年度)
年間観光入込客数	886,026人 (H27年度)	1,000,000人
年間宿泊者数	168,330人 (H27年度)	190,000人

施策

施策項目	施策内容
(1)ジオパーク	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大 ②資源価値の保全と教育
(2)観光・物産	①広域連携による観光プロモーション ②稼げる物産プロモーション
(3)景観	①景観の向上と保全
(4)国際・都市間交流	①諸地域との親善・友好
(5)海洋科学研究拠点	①研究活動環境の充実



ジオサイト ちざり浜



あomorい10市大祭典inむつ



海洋地球研究船「みらい」就航20周年イベント



ジュニア大使派遣事業



アゲハチョウの夜景

※シティプロモーション
地域における経営資源のブランド化を目指し、地域の魅力を世間に広めることで、地域活性を図る活動。
※滞在人口
特定の市町村に2時間以上滞在した人数。